

メニュー選択型支援

# 岩見沢市の就労準備支援

岩見沢市健康福祉部保護課 小野 直樹



第115回市町村セミナー

# 岩見沢市の概要



岩見沢市を  
ご紹介します!



岩見沢市  
健康福祉部の  
ゆるキャラ  
イワくん



## 1 位置

- 札幌から北東に40km、高速道路で30分、JR特急で25分
- 新千歳空港からクルマで60分
- 夕張市・滝川市と同じ空知総合振興局管内に位置

## 2 人口

- 84,941人・42,056世帯 (H27.10.31)
- 道内12位、空知管内1位 (H27.08.31)
- 生活保護受給者数等 2,152人・1,570世帯 (H27.10)
- 保護率 2.53% (H27.10)  
⇒(参考)全道 3.12%程度・全国1.70%程度

## 3 特色

- 道内有数の豪雪地帯  
⇒ H22~26年度平均降雪量 7.65<sup>メートル</sup>  
⇒ H23年度はとくに多くて 11.11<sup>メートル</sup> (隣の札幌は3.99<sup>メートル</sup>)
- 米・白菜は全道一の作付面積・収穫量
- 空知総合振興局や税務署など国・道の機関が所在

## 4 名物・名所

- 野外ロック・フェスティバル JOIN ALIVEの開催(毎年7月)
- いわみざわ公園バラ園(630品種 8,800株 4万<sup>m</sup>2)

# 生活困窮者支援の実施体制

## 1 所管課

健康福祉部保護課（生活保護の担当課）

保護課長 1人

主幹 1人

担当係長 1人

担当係員 1人

## 2 自立相談支援機関

NPO法人に委託して実施

生保と一体的に  
実施しています

### 自立相談支援事業

センター長（主任相談支援員） 1人  
相談支援員 2人・事務職員 1人

### 就労準備支援事業

【生活困窮者】 支援員 2人  
【被保護者】 支援員 1人



# 岩見沢市生活サポートセンター りんく

## りんくの外観



## 【所在地】

〒068-0023 岩見沢市3条西3丁目2番地1

## 【電話番号等】

TEL: 0126-25-5200 FAX: 0126-25-5255

## 【公式HP等】

公式HP <http://iwa-link.net/>

メールアドレス [linksoudan@iwa-link.net](mailto:linksoudan@iwa-link.net)

## 【開館日時・相談受付時間】

月曜日～金曜日 9:00～17:30

※ 火曜日・金曜日は夜間電話相談の受付あり 17:30～20:00

※ 土曜日・日曜日・祝日・年末年始は休みです。



〒068-0023 岩見沢市3条西3丁目2-1

## “りんく” という愛称の由来

生活困窮者自立支援制度は、相談支援・就労支援だけを行う制度ではありません。支援対象者と関係機関のネットワーク、関係機関どうしのネットワークを構築し、社会資源の活用・開発を行う制度でもあります。

そこで、岩見沢市生活サポートセンターは、支援対象者と関係機関・地域との繋がり（リンク）を作り、関係機関どうしが輪（リンク）になって生活困窮者を支援する場であると考え、愛称を“りんく”にしました。

## 【業務の内容】

- ① 相談支援員が生活に困っている方の相談を受け、解決に向け、一緒に考えて行動します。（電話相談・訪問面談も可能です）
- ② ハローワークと同様に求人検索ができます。
- ③ 就職のためのミニセミナーを開催します。（第二・第四水曜日）
- ④ 生活困窮者・生活保護受給者の就労準備支援プログラムを行います。
- ⑤ 巡回相談を行います。
  - ・岩見沢市役所 第一・第三 火曜日 10:00～12:00
  - ・ハローワーク岩見沢 第二・第四 火曜日 10:00～12:00
- ⑥ ハローワーク職員による興味検査を行います。（月1回）

# 岩見沢市の生活困窮者自立促進支援事業

※ 平成25・26年度 厚生労働省モデル事業として実施

## 1 自立相談支援事業

### 【自立相談支援機関】

岩見沢市生活サポートセンター りんく を開設・運営



岩見沢市生活サポートセンター



F068-0023 岩見沢市3条西3丁目2-1

TEL : 0126-25-5200

相談受付時間  
月～金 9:00～17:30  
※ 火・金のみ  
夜間電話相談あり  
17:30～20:00  
※ 祝日・年末年始を除く

受託者 特定非営利活動法人コミュニティワーク研究実践センター  
職員数 7人(自立相談支援4人+就労準備支援2人+被保護者就労準備支援1人)

### 【支援の内容】

岩見沢市生活サポートセンターりんくの相談支援員が  
困りごと・不安を抱えた方の相談支援を行います。

- ① 相談受付 … 来所・電話・訪問による受付、巡回相談あり
- ② 相談支援 … 相談者の複合的な課題を整理して支援プランを作り、本人に寄り添って支援必要に応じて関係機関と連携
- ③ 就労支援 … 応募書類・面接の助言指導  
ハローワークの出張相談による職業適性検査  
求人検索端末機の設置  
求職者対象ミニセミナー
- ④ 住居確保給付金の申請受付、就労訓練事業の紹介など

### 【実績】 平成25年10月～平成27年10月

相談受付者 313人(来所+電話)  
相談申込者 181人(残り132人は情報提供のみで終了)  
プラン作成者 75人(残り106人は他機関へ繋いで終了)  
就労開始 27人(うち19人が就労準備支援プログラム参加者)

本人の状況に応じた支援

## 2 住居確保給付金の支給

### 【支援の内容】

支給要件を満たす人に、家賃を一定期間支給します(上限あり)。

### 【支給要件】

- ① 住居喪失者又はそのおそれのある人
- ② 離職から2年以内の65歳未満
- ③ 世帯の生計を主として維持
- ④ 収入が基準以下
- ⑤ 預貯金等が基準以下
- ⑥ 熱心に求職活動を行う
- ⑦ 他法による給付金を未受給
- ⑧ 暴力団員ではない

【支給額】 生活保護による住宅扶助額が上限額(例 単身世帯 30,000円)

【支給期間】 基本3か月・最長9か月

## 3 就労準備支援事業

**生活保護受給者の就労準備支援も一緒に実施しています！**

### ★自立相談支援事業と同じ法人が受託しています★

### 【支援の内容】

求職活動を直ちに開始できない人の就労意欲を高め、就職活動の知識を得ることができる各種プログラムを実施します。

### 【岩見沢市で実施しているプログラム】

- ① 生活自立支援
- ② 社会自立支援
- ③ 就労自立支援

### 【参加要件】

- ① 65歳未満
- ② 収入が基準以下
- ③ 資産が基準以下



岩見沢市生活サポートセンター

## 4 学習支援事業

### 【支援の内容】

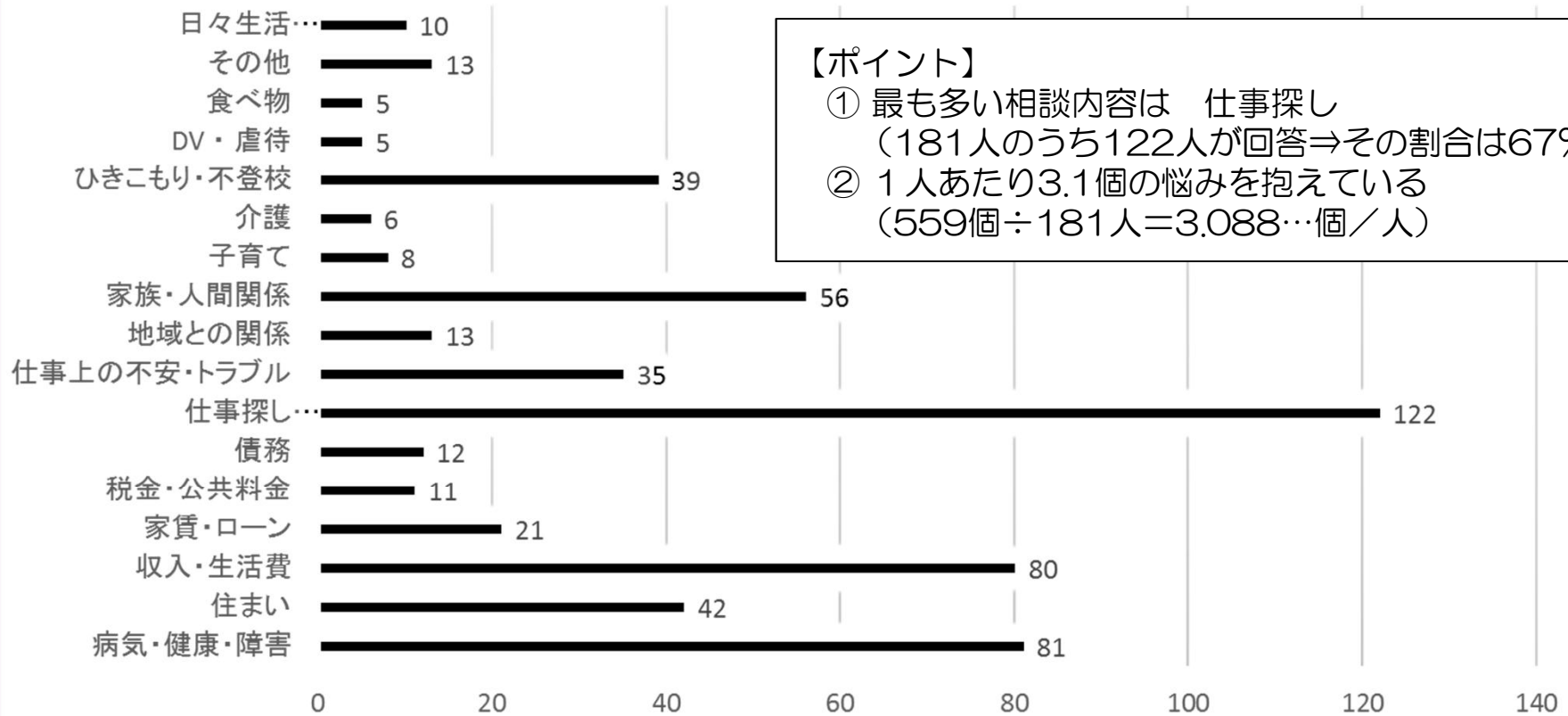
貧困の連鎖からの脱却を目指し、生活保護世帯の中学生が  
シルバー人材センターの補習教室で無料で学習します。

【受講教科】 英語・数学のうち希望する教科(2科目でも可)

【受講回数】 1教科につき週1回

# 生活困窮者の相談内容

平成25年10月～平成27年10月の  
相談申込者181人の相談内容を分類・集計しました（複数回答あり）



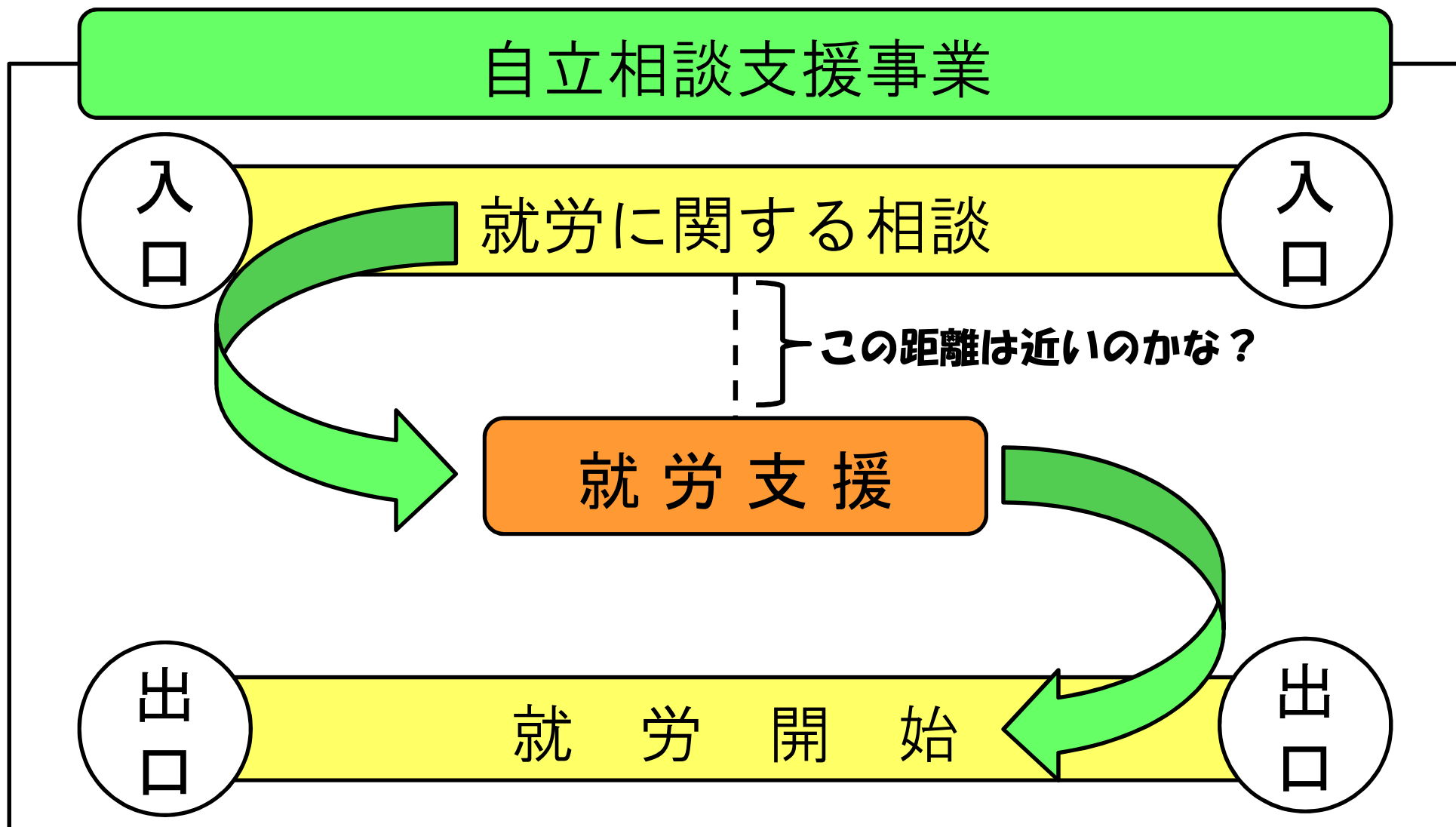
※ 分類項目は、みずほ情報総研(株)が作成した自立相談支援機関使用標準様式の相談受付・申込票に基づく

# 就労支援員による“就労支援”の業務内容

- **就労意欲の喚起**
- **ハローワークへの同行訪問**
- **履歴書・職務経歴書の作成指導**
- **採用面接の対策**



“就労に関する相談”の入口から出口まで（担当者の最初のイメージ）





# “就労に関する相談”の入口から出口まで（担当者の現在のイメージ）

自立相談支援事業

入口

就労に関する相談

入口

この距離を遠く感じ、就職活動を  
直ちに開始できない人もいる！

就労支援

出口

就労開始

出口

# (就労支援にも至らない) 就労準備支援の対象者像

家から出ない・出られない  
働いたこともない

就労から  
遠い

文字の読み書き・計算が苦手

他人とのコミュニケーションを  
上手にとることができない

職種に関する知識がない

自分自身について理解していない

就労に  
近い

パソコンを使うことができない

その人に合った・その人に必要な支援メニューを選択して訓練  
⇒ 訓練後は一般的な就労支援・就職活動に参加できる！

# 就労準備支援プログラム

就職活動を直ちに開始できない人に対して、各種プログラムにより支援します

step  
1

就労から遠い人が対象

生活  
自立支援訓練

たのしみ隊

レクリエーション活動を通して、生活習慣の改善や他者との関係づくりを学びます。

(例) 家で手軽に作れる料理教室・ゲーム大会・カメラ撮影会



まなび隊

基礎学力に自信がなく不安を感じている人が、常用漢字、熟語、ことわざの意味、四則計算などを学びます。

step  
2

社会  
自立支援訓練

たいけん隊

地域イベントのボランティアやプロジェクト活動に参加して、就労に必要とされる自信、経験及び能力を身につけます。

(例) 商店街の清掃活動、成人式、岩教大あそびプロジェクト

しごと見学隊

実際に働いている人を見学し、就労意欲を高めます。



step  
3

就労に近い人が対象

就労  
自立支援訓練

はたらき隊

就職にあたっての心構え、応募書類・履歴書の書き方、模擬面接等本格的な就職活動に向け必要な知識・技能を学びます。

パソコン隊

どこの職場でも使用されているパソコンの技能を高めます。



# たのしみ隊 プログラムの内容(例)

## ● 美味しんぼクラブ

家で手軽に作れる  
料理教室

みんなで  
お好み焼きを  
つくりました



## ● カメラクラブ

～みんなで散策・撮影・品評～

## ● 演劇ワークショップ

## ● 本気!のゲーム大会

## ● 仮装パーティー

## ● 認知症サポーター 講座の受講

## ● クリスマス会のような 利用者交流会

## ● ラフタア・ヨガで 身体を動かそう!



笑いヨガで  
思いっきり笑う!

# まなび隊

## プログラムの内容(例)

- 常用漢字の読み書き練習

漢字の練習をしています



- ひらがな・カタカナの読み書き
- ことわざ・四字熟語の意味
- 漢字の部首

- 英単語

- 百ます計算  
(集中力・計算力)

- 四則計算

- 歴史・地理などの一般常識



皆で勉強をしています

# たいけん隊 プログラムの内容(例)

- 商店街清掃活動  
りんくが事務所を構えている商店街の  
清掃活動に参加

お祭りの  
イベントスタッフ



- 岩見沢市成人式  
成人式配布資料の封入作業  
当日の会場スタッフ



フリーマーケットや  
岩見沢教育大学の  
あそびプロジェクトでの  
接客体験

- あそびプロジェクト  
(北海道教育大学岩見沢校)  
イベントの準備作業・当日の会場スタッフ



# はたらき隊

## プログラムの内容(例)

- 応募書類の作成  
～履歴書・職務経歴書～

応募書類の  
書き方指導



- 自己の棚卸し  
～自分の長所・短所～
- 職業興味検査
- ハローワーク見学会

- 求人票・雇用契約で  
使われる用語解説

- 「働く」を考える  
～世の中にどんな仕事があるのか?～

はたらくことについて  
みんなで  
勉強しています



## しごと見学隊 プログラムの内容(例)

- 木材の加工工場
- クリーニング工場
- ベーグルの製造現場
- スポーツ店のバックヤード





# パソコン隊 プログラムの内容（例）



パソコンの基本操作から  
ワード・エクセルの使い方まで  
それぞれのペースで学べます

# プログラムに参加してみて ～ 参加者の声 ～



Aさん  
(48歳・女性)

「たいけん隊」の清掃トレーニングをしたことで、  
清掃で働けるイメージがもてた。自信がついたので  
清掃会社での短期時間パートに就くことができた。

一般就労にむけて初めて履歴書を作成することになった。  
自分一人ではどう書いてよいのかわからなかったが、  
「はたらき隊」で丁寧に教えてもらって、  
綺麗な字で完成し、見事就労することができた。



Bさん  
(32歳・男性)

いろいろな職場を体験したくて、  
今は介護のボランティア体験をしています。



Dさん  
(25歳・男性)



Cさん  
(24歳・男性)

りんくのプログラムで働きたい気持ちが強くなった。  
母から「りんくさんのおかげで自信がついたね。」と  
言われた。その自信が今回の就労に結びついたと思う。



Eさん  
(27歳・男性)

りんくに通うようになって、  
いろんな話題で人と話すことができて楽しくなった。



Fさん  
(23歳・男性)

漢字の練習をもう一度することで、  
字のバランスがとれてきた。  
しっかりとした履歴書を書けるようになってきた。

# 岩見沢市における就労準備支援の実績

自立相談支援における支援プランを作成した人

75人

就労支援が必要な人 52人 (69%)

就労支援が不要な人 23人 (31%)

就労準備支援に参加した人 38人 (73%)

就労準備支援に  
参加しなかった人 14人 (27%)

このうち就労開始した人  
19人 (50%)

このうち未就労の人  
19人 (50%)

就労開始  
8人 (57%)

未就労  
6人 (43%)

(注1) 各人数は  
生活困窮者と  
生活保護受給者の合計

(注2) カッコ内の数値 (%)  
は一段上の数値の割合

(注3) 平成25年10月から  
平成27年10月までの  
実績値

# 岩見沢市における就労準備支援のまとめ

## 就労準備支援 は

- 1 面談以外の活動を通じて本人の状態がわかる点が良い**
- 2 自立相談支援事業と併せて自立支援の両輪となる**
- 3 ボランティア体験など地域の人と交わることも多く、地域づくり・地域理解のツールとなっている**
- 4 地方創生の出発点になり得るのではないか**

ご清聴ありがとうございました

